

退任のごあいさつ

優しさに包まれて

稲穂が金色に輝く季節ですね。夏の佐渡も好きですが、秋の佐渡の景色や気候が好きです。

このたび、一身上の都合により、9月30日をもちまして協力隊を退任することになりました。任期中は多くの方にお世話になり、大変ありがとうございました。

担当の潟上集落では、トキヤホテルを当たり前に見ることができ、ありがたい環境で2年半の期間を過ごすことができました。

協力隊の活動で特に心に残っているのは、世界農業遺産をきっかけに地域で何ができるか考える、潟上未来会議を開催し、さまざまなプロジェクトを行うことができたことです。地域の人の優しさ、思いやり、繋がり、地域の輪を感じ、夢を持ち続けること、こつこつとそれを継続していくこと、何事にも挑戦し続けることの大切さを学ばせていただきました。退任後もプロジェクトに携わっていき、撒いた種に芽が出る手助けをしたいと思います。

地域の人が家族のように迎えてくれたからこそ活動することができたことをあらためて感じました。東京でも潟上地域のような地域を作っていきたいです。そして、一人でも多くの人を佐渡にお連れし、感動する体験をしてもらいたいと思います。

お問い合わせ 地域振興課 地域振興係 ☎63-4152

～地域の魅力をサポートします～
われら地域おこし協力隊

世界農業遺産・潟上集落担当 青木 秀輔



活動中、たくさんさんの時間を共に過ごした板垣さん(左)と一緒に

元気で頑張ってます!



手伝っていただいています。医療現場はどれも人手不足と言われていますが、医師や看護師だけでなく事務員も人手不足が悩みの種です。電話応対だけでなく、患者さんの送迎バスの運転、宿日直など、いろいろな仕事をシルバー人材センターへ委託しています。60、70歳代の方が働いており、皆さん

市立病院から こんにちは

相川病院 川口管理課長心得

年の功に支えられて

相川病院では、シルバー人材センターの会員さんが事務室で働いています。電話応対や書類の整理など、事務の仕事

とても元気です。そして、長年積み上げて来られた豊富な経験があり、人生経験の足りない私たちにとって、とても頼りになる存在です。

今、市の高齢化率は7月末現在でおよそ41%、相川地区に限ると47%を超えています。21%を超えれば「超高齢化社会」と呼ばれており、これがいかに高い割合かが分かります。ほぼ2人に1人が高齢者の社会、お互いに無理をせず、助け合いながら働くことが大切なのではないかと考えています。

病院は、365日、24時間休みがありません。職員だけでは、とても運営していくことはできません。シルバー人材センターの皆さんには、これからも元気で、私たちを支えていただければと思っています。今回は相川病院の薬剤部です。

